

2020年6月1日

各位

会社名 株式会社グッドパッチ
 代表者名 代表取締役社長 土屋尚史
 (コード番号: 7351 東証マザーズ)
 問合わせ先 執行役員管理部管掌 榎島俊幸
 TEL. 03-6416-9238

2020年8月期の業績予想について

2020年8月期(2019年9月1日から2020年8月31日)における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであります。

【連結】

(単位: 百万円、%)

項 目 \ 決算期	2020年8月期 (予想)			2020年8月期 第2四半期累計期間 (実績)		2019年8月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売 上 高	2,237	100.0	32.9	1,121	100.0	1,683	100.0
営 業 利 益	206	9.2	174.4	160	14.3	75	4.5
経 常 利 益	205	9.2	145.8	160	14.3	83	5.0
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純 利 益	212	9.5	270.0	170	15.2	57	3.4
1株当たり当期 (四半期)純利益	30円70銭			24円79銭		8円36銭	
1株当たり配当金	—			—		—	

- (注) 1. 2019年8月期(実績)及び2020年8月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2020年8月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募予定株式数(308,900株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大98,900株)は考慮しておりません。
3. 当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式、C種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しておりますが、2019年8月期の期首に当該普通株式の交付が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。なお、当社が取得したA種優先株式、B種優先株式、C種優先株式は、同日付で会社法第178条に基づき全て消却しております。
4. 当社は、2020年3月17日付で株式1株につき40株の株式分割を行っております。上記では、2019年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

ご注意: この文書は記者発表文であり、日本国内外に問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社グループの判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

【2020 年 8 月期業績予想の前提条件】

(当社グループ全体の見通し)

当社グループは、「デザインの力を証明する」というミッションのもと、「ハートを揺さぶるデザインで世界を前進させる」というビジョンを掲げており、顧客企業に対し、Web・スマートフォンサービス等のデジタルプロダクトに関わる様々なデザイン領域においてサービスを提供しております。

当社グループを取り巻く経営環境としましては、米中貿易摩擦の長期化や国内における消費税増税の影響により景気に停滞感が見られることに加え、2019 年 12 月に確認された新型コロナウイルス

(COVID-19) の感染拡大に起因する様々な社会経済への影響により先行きが不透明となっております。

他方、IT 専門の調査会社の IDC による調査結果では、デジタルトランスフォーメーションの拡大を背景として、全世界におけるデジタルエージェンシー（当社グループを含む顧客企業のデジタル開発/進出を支援する事業を行う企業）の全市場の市場規模は堅調に拡大すると推測されています。この中でも、当社グループが手掛ける UI/UX デザイン支援に関連した領域（UI/UX デザイン市場）の市場規模については、2018 年の 484 億 US ドルから 2023 年には 950 億 US ドルに拡大すると予想されており、年平均成長率にして 14.4%になるとされています。国内においても、経済産業省及び特許庁が 2018 年 5 月に「『デザイン経営』宣言」を公表しており、デザインを活用した経営手法を推進しているところであり、当社グループの事業に関わる市場のポテンシャルは十分にあるものと認識しております。

当社グループのセグメントは、Web サイト、アプリケーション、ブランド等のデザイン支援を行う「デザインパートナー事業」と、自社開発の SaaS プロダクトや自社を軸として構築した人材プールを活用した「デザインプラットフォーム事業」の 2 つに分かれます。2020 年 8 月期の業績予想の前提としては、これらの 2 つのセグメントの売上高がともに堅調に推移すると見込んでおります。その結果、売上高 2,237 百万円（前期比 32.9%増）、営業利益 206 百万円（前期比 174.4%増）、経常利益 205 百万円（前期比 145.8%増）親会社株主に帰属する当期純利益 212 百万円（前期比 270.0%増）と見込んでおります。

(売上高)

(1) デザインパートナー事業

デザインパートナー事業においては、主に Web サイトやスマートフォンアプリケーション等のデジタルプロダクトのデザイン開発を進めたい顧客企業に対し、当社の UX デザイナー及び UI デザイナーが UI/UX デザインの実現を支援しております。収益獲得形態としては、顧客企業からプロジェクトを受注すると、当社の UX デザイナー及び UI デザイナーが、例えばユーザーの観察から潜在的なユーザーの課題を見出し、プロトタイピングを繰り返しながら発想する等という問題発見解決の思考でサービスを提供しており、顧客企業からは当該サービスの提供に応じて対価を得るというものです。顧客企業との契約形態は主に準委任契約となっております。

売上高の計画の策定にあたっては、まず、過去に受注したプロジェクトの実績の推移及び期初時点の受注プロジェクトの候補から、人員計画を考慮して年間の受注件数を設定します。各プロジェクトには当社のデザイナーを配置することになりますが、配置するデザイナーの等級ごとに請求単価が決められており、当該請求単価とプロジェクトに従事したデザイナー数に基づいて顧客企業に対価を請求しています。当事業の手がけるプロジェクト数およびプロジェクト月額増加トレンドにあり、2019 年 8 月期においては月平均プロジェクト数は 13.0%の増加、平均プロジェクト月額は 11.5%の増加等により、事業売上高は 1,323 百万円（前期比 11.2%増）となりました。

また、2020 年 8 月期では、第 2 四半期累計（2020 年 2 月まで）にて、月平均プロジェクト数におい

ご注意： この文書は記者発表文であり、日本国内外に問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社グループの判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

ては前期比 9.7%増、月平均プロジェクト数では前期比 18.3%増となりこれまでの増加のトレンドは継続しております。加えて、計画の策定においては、配置されるデザイナーの等級の変遷やデザイナー数の変動も加味し、第2四半期までの獲得プロジェクトを反映させたものとなっています。

以上の結果、デザインパートナー事業の 2020 年 8 月期の売上高は 1,628 百万円（前期比 23.5%増）を見込んでおります。

(2) デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業において当社グループが顧客に提供している主な製品・サービスは以下のとおりであり、製品・サービスごとに売上高の計画を策定しております。

① Prott

「Prott」は 2014 年にリリースしたプロトタイピングツールであり、アプリケーションにおける画面遷移の動作やタッチパターンなどの設定をプログラミングなしで表現可能であるため、デザイナーはこの製品を用いることで簡易的に画面設計を行うことが可能になります。契約しているアカウント数と機能の充実度によって段階的な価格設定があり、この組み合わせにより売上高が決まります。当社としては、競合製品の状況を鑑み、今後はアカウント数を増加させることはしない方針であるため、想定される解約率により 2020 年 8 月期の売上高を策定しております。2020 年 8 月期においては、2019 年 8 月期の解約率のトレンドが継続すると考え、各月の売上高を見込んでおります。以上の結果、「Prott」の 2020 年 8 月期の売上高は 100 百万円（前期比 34.2%減）を見込んでおります。

② ReDesigner 及び ReDesigner for Student

「ReDesigner」は 2018 年にリリースしたデザイナーに特化した人材紹介サービスです。デザインの知識を持った当社がエージェントとしてデザイナーと求人企業の間に入り、独自の求人票、オンラインアンケート、面談等を通じて、デザイナーの特性やキャリアの志向を踏まえてマッチングを実施します。

収益獲得形態は、人材紹介が成約した場合に求人企業から成功報酬の形で対価を受け取っており、成功報酬は成約者の年収に一定のレートをかけたものです。2020 年 8 月期においては、2019 年 8 月期の成約者数及び成約者の年収のトレンドが継続すると考え、各月の売上高を見込んでおります。

また、2019 年 6 月には「ReDesigner for Student」というデザイナー志望の学生に向けた採用支援サービスもリリースしております。学生は本サービスに登録し、自身のポートフォリオ（作品集）の掲載を行い、求人企業からの採用アクションを待つ一方、求人企業は毎月定額の利用料を支払い、ポートフォリオに登録している学生に向けてコンタクトを取ります。2020 年 8 月期においては、求人企業数を個別に見積もることにより各月の売上高を策定しております。以上の結果、

「ReDesigner」および「ReDesigner for Student」の 2020 年 8 月期の売上高は 119 百万円（前期比 109.4%増）を見込んでおります。

③ Goodpatch Anywhere

「Goodpatch Anywhere」は、遠隔地からインターネットを通じてプロジェクトに参加する形態をとったフルリモートのデザインチームによる Web サイトやアプリケーションのデザイン支援を展開しております。本サービスにおけるデザインプロジェクトは、デザインパートナー事業におけるデザインプロジェクトと同様、顧客企業は当社と準委任契約を締結し、役務の提供が行われ、当社はその対価を受け取ります。デザインチームの組成は全国のデザイナーを各プロジェクトへの期間や必要となるスキルに応じて、本サービスに登録されている人材のプールから最適なメンバーを選挙することにより行います。

ご注意： この文書は記者発表文であり、日本国内外に問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社グループの判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

売上高の策定にあたっては、デザインパートナー事業におけるデザインプロジェクトと同様に、毎月の受注見込み件数にプロジェクトの月当たりの売上単価を掛け合わせる形をとっており、受注見込み件数及び売上単価は、計画策定時に判明しているトレンドを反映させたものとなっています。以上の結果、「Goodpatch Anywhere」の2020年8月期の売上高は368百万円（前期比159.0%増）を見込んでおります。

④ Athena

「Athena」として、カーデザインをVirtual Realityの環境で行うことができるソフトウェアの開発を子会社Goodpatch GmbHにて進めております。将来的にはライセンスの課金収入を目指しておりますが、現在は顧客企業のオーダーに応じた取引を実施しており、ソフトウェアを顧客用にカスタマイズし、個別のデザインプロジェクトとして提供しております。

2020年8月期の売上高については、顧客企業からの引き合いから個別に受注見込みと受注金額を見積もり策定しております。以上の結果、「Athena」の2020年8月期の売上高は19百万円（前期比7,687.2%増）を見込んでおります。

以上の結果、デザインプラットフォーム事業の2020年8月期の売上高は609百万円（前期比67.5%増）を計画しております。

なお、現在新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が世界的に拡大していますが、当社グループの事業は必ずしも対面によることが必要とされるものではなく、遠隔のコミュニケーションによっても顧客企業へのサービスの提供が成立することから、当社グループの事業への影響は限定的であると判断しております。当社では、現時点において新型コロナウイルスの影響により、かねてより進行中のプロジェクトや受注済のプロジェクトが打ち切りになった事例はありません。したがって、2020年8月期業績予想の前提条件にはこの影響は織り込んでおりませんが、今後の状況により顧客企業の事業の停止や倒産等が発生するリスクは残されており、当該リスクが現実となった場合は、例えば当社グループの売上高の減少や売上債権の回収不能といった事象が発生することがあり、その場合は当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（売上原価）

（1）デザインパートナー事業

デザインパートナー事業における売上原価の大半は、UIデザイナー、UXデザイナー及びエンジニア（以下、「デザイナー等」という。）の労務費から構成されています。2020年8月期の労務費については、期首のデザイナー等の在籍者数に期中の採用者数及び退職率を考慮して計画を立案しております。当社の場合、デザイナー等の在籍者数に最も影響を与えるのは退職率であると考えております。過去は高い退職率だった時期があったものの、2019年8月期には改善傾向が見られたため、2020年8月期の退職率は、2019年8月期の第3四半期及び第4四半期の実績に基づいた数値を計画に使用しております。2020年8月期においては、2020年2月末のデザイナー等が101名から期末のデザイナー等が114名に増加する計画としており、労務費の算定にあたっては昇給も考慮しております。経費については、オフィスの賃借料、交通費、通信費等がありますが、これらは2019年8月期と同水準という前提で計画を立案しております。

以上の結果、デザインパートナー事業の2020年8月期の売上原価は652百万円（前期比31.0%増）を計画しております。

（2）デザインプラットフォーム事業

ご注意： この文書は記者発表文であり、日本国内外に問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社グループの判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

デザインプラットフォーム事業における売上原価も、「Goodpatch Anywhere」に従事するデザイナーをはじめとする労務費が中心となっております。「Goodpatch Anywhere」については、受注案件数が増加しており、フリーランスを統括する人材の必要性が高くなっているため、2020年8月期において人員を強化する計画としております。具体的には、2020年4月末の稼働者数が29名から期末の稼働者数が36名に増加する計画としており、これを労務費の計画に反映しております。経費については、デザインパートナー事業と同様に2019年8月期と同水準という前提で計画を立案しております。

以上の結果、デザインプラットフォーム事業の2020年8月期の売上原価は213百万円（前期比74.9%増）を計画しております。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

（1）デザインパートナー事業

デザイナー等の労務費のうち、非稼働時間に係る分を販売費及び一般管理費の人件費として計上しております。2019年8月期からのデザイナー等の増加に応じて2020年8月期の人件費も計画しております。採用費等の経費は、2019年8月期の実績に基づき各費目を積み上げて2020年8月期の計画を策定しております。

以上の結果、デザインパートナー事業の2020年8月期の販売費及び一般管理費は772百万円（前期比11.5%増）、営業利益は210百万円（前期比57.9%増）を計画しております。

（2）デザインプラットフォーム事業

主要なものは人件費であり、2019年8月期の人件費の実績に2020年8月期の人員増減計画を考慮して2020年8月期の人件費を策定しております。経費についても、デザインパートナー事業と同様に2019年8月期の実績に基づき各費目を積み上げて2020年8月期の計画を策定しております。

以上の結果、デザインプラットフォーム事業の2020年8月期の販売費及び一般管理費は392百万円（前期比32.8%増）、営業損失は4百万円（前年同期は58百万円の営業損失）を計画しております。

（営業外損益、経常利益）

2020年8月期の営業外損益は、2019年8月期の実績を勘案して策定しておりますが、このほかに営業外費用として新規株式上場に伴う株式公開費用7百万円を見込んでおります。

この結果、2020年8月期の経常利益は205百万円（前期比145.8%増）を計画しております。

（特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益）

特別損益については、今後発生を見込んでいる重要な項目はありません。これらに税金費用を加味した結果、2020年8月期の親会社株主に帰属する当期純利益は212百万円（前期比270.0%増）を見込んでおります。なお、税金費用には過年度の繰越欠損金の影響も反映しております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

ご注意： この文書は記者発表文であり、日本国内外に問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社グループの判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの財政状態、経営成績その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なる場合があります。